

中村じゅんや 議員だより

連絡先(事務所)：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www.junya-susono.club/

市のごみ袋デザインが更新されます

アジサイがきれいに咲き誇る中、シトシトと雨が続いたと思えば、ガツンと猛暑を記録する日が割り込んでくる。梅雨時期は体調を崩しやすくなりますので、くれぐれも過信せず健康にご留意くださいませ。さて、7月以降出回る裾野市指定ゴミ袋には、すそのんのデザインが入ることになりました。同時に、炭酸カルシウムが入っていることにより破れやすかった可燃用と不燃用の袋は、プラ用の袋の材質と同じものとなり、薄くはなりますが、強度自体は増すよう改善されます。袋の大きさなどバリエーションを増やしてほしいとの要望もありますが、今回は材質と厚さ、デザインの変更のみ。価格は製造している3社が設定しますが、これまでと同程度とのことです。在庫をお持ちの方も引き続き利用することはできますのでご心配なく。。。この程度なんです、変わる所。もっとまちづくりでPRして欲しいけど、、、



6月定例会の内容から、気になるものをご紹介します

■損害賠償

ア) 消防自動車の事故(保険：29万9千円)

消火活動に向かう消防団の消防車が、国道246の交差点を横断するため、停車中の車両を追い越す際に、内輪差を見誤って民間車両に接触させてしまいました。急いでいたとはいえ、怪我がなかったのは幸い。運転していたのは消防団員。消防車両の運転は免許証さえあれば誰でも運転できる仕組みだそうですが、団として日頃の訓練の中に、車両運転と助手席乗車者の安全確認を追加しても良いかもしれません。運転者本人のためにも。

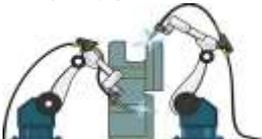
イ) 著作権の無断使用(14万5千円)

資源回収の広報として作成したチラシにインターネット上にあったイラストを使用、実は著作権があり、相手方から無断使用に対する使用料支払いの請求を受けた。「フリー」という検索でイラストを導き出し利用したようですが、しっかり著作権有無を確認しなかったのが原因でした。私も利用しますが、皆さまもインターネット上のイラスト使用にご注意を!



■条例改正(中小企業の設備投資を応援)

中小企業の設備投資を後押しする為、固定資産税の特例を設定。条件はありますが、先端設備等導入計画の認定を受けた設備投資は、3年間の固定資産税がゼロとなります。市内事業者さんに期待したい! 私の取り組みとしては、単発ではなく日常的に企業を応援する「中小企業振興条例」の制定を目指しています。産業基本計画にも取り組むことを明記してもらいましたが、今の所、H30年に調査し、H31年に制定することを目標にしています。大企業頼りではなく、地元企業が元気にならなくては意味はなし。もちろん、商業も含めすべての産業が対象です。



★補正予算に関するもの★

■S56年以前の木造住宅耐震化に上乗せ補助

大阪震災ではブロック塀の倒壊による死者が発生しました。最近南海トラフに影響しそうな地震が相次いで発生しています。S56年以前建築の木造住宅で耐震化が遅れている方は、今なら上乗せ補助が受けられますので、早めにご対応くださいませ! 上乗せ額は、15万円で、10件分が組まれました。過信は禁物、再度点検してみてください。

■平松踏切の改良(裾野警察署付近の踏切)

本年度当初予算で、この場所の改良を進めていく事が決まりましたが、スケジュールは未定でした。今回調査を開始することとなり、予定ではH33年に用地買収、H34年工事着手に向け準備をしていくそうです。歩道が途切れてしまう踏切です。安全対策として順調に進めて欲しいですね。



■恋来い支援センター、交付金不採択

市が実施する婚活支援策ですが、国の交付金は「事業に代わり映えがない」ということで不採択。250万円の予算をつけていましたが、半額となり事業も縮小。個人の自由で、結婚するかどうかは分からない事業に税を使わず、民間の結婚相談所の成婚者に対する成功報酬の一部を助成する方法に変更すべきと訴えています。ただ昨年度24組のカップルが生まれた為、このまま事業継続したいとのこと。カップルだけでは少子化対策にはならない。結婚にこそ重点をおける施策とする必要があると思いますが、どうなんでしょう? そもそも、ボランティア婚活も行われる中、税を投じる先は、このような事業なのか? まちの魅力にこそ、税を投じなくてはならない時期では???



■一般質問 今回のテーマは、「子育て世代に注視した魅力の創出」です。

裾野市の人口動態を見ると、子育て真っ最中の30歳代とその方々の子どもにあたるだろう5～10歳の人口がガクンと減る傾向が見て取れます。企業社宅を出た方が、市外に拠点を移しているのも原因の一つとなっていると言えます。社宅から出て市外に定住した方120人にアンケートを取った所、社宅近隣で住む所（家や土地）が無いので、どうせならもっと利便性が高い場所に住もうと考えた方が4割でした。同時に子どもの転校に対し、ほとんどの方が抵抗を持ったとのこと。つまり、我が子に転校させない場所に、住まいが求められなければ、次はどのまちでも同じで、利便性が高い所を候補として探したという状態。是が非でも「裾野に住みたい」という思いはなかったようです。今回は、少子化に影響を与えかねない、子どもや子育て世代にとって魅力を感じてもらえる裾野にする為の、考え方について質問しました。

①養成した子育て支援パートナーの活用を！

妊産婦の不安を解消する為、現役ママに応援団になって頂くべく、パートナーとして養成をしましたが、その後一切活用できていない。せっかく手を挙げて参加してくれた勇気を無にして、市民協働のまちと言えるのか？ 新設の子育て包括支援センターで体制を再構築すべきではないか。

A. 多くの方に参画頂いたのに、活用できていないのは市の悪さ。提案含めて市民協働として共に支援できる様、調整していきたい。

②施設をフル活用し、希望園に入れる環境を！

市内の幼稚園入園者は定員を大きく下回る。一方保育園は定員オーバーで、「待機児童0」と言う為、希望順位が低い園を含め調整し何とか折り合いをつけている状態。場所が遠く入園をあきらめる人もいる。安心してより希望に近い園に入れるよう、指定管理者制度導入評価が良かった場合順番ではなく、それぞれ示された方向性に沿って関係者理解の元、一気に進めるべきでは？

A. 現在困っている方に対する対応が遅いと言われているのも事実。進め方として合意形成を取りつつ、多く市民の課題を解決できるよう手法を検討していきたい。



幼保一体化、子ども園化充実で、働かざるを得ない家庭の就労支援につなげよう。

③学びの森より地域人材の活用を！

「裾野市ならではの教育を確立する」として教員を教育する学びの森設置だが、ちっとも裾野らしさは確立されていない。「地域性を特徴として・・・」というなら、高い指導員より地元の人材、特に教職員OBの方の力を借りることの方が、みんなで子どもを育てる風土づくりとして良いのではないか？ 「チーム学校」として、地域人材をもっと活用し、現職の先生の専門性を十分発揮してもらえれば、子どもたちの教育レベル向上に寄与できるのでは？

A. 子ども教育は制度もめまぐるしく変化しており、その時々で専門性が求められている。教職員のレベルアップこそ近道。

(その恩恵はいつ子供に来るのだろう?)

教職員OBは学校運営も熟知している。地域にいるOBを業務アシスタントとして応援いただき、先生が授業に集中できる環境を作ることが子どもにとっても良い影響を与えられるのではないか。OB活用だけでも即取り組む考えはないか？

(すご～く粘って・・・)

A. 地域人材の活用を課題解決の一つの手段として考え、どのように取り込んでいくか検討する。



「開かれた学校をめざし」と言う割に、地域の方が入り込むことを拒みます。学びの森の指導者費用で講師は4～5人程度増やす事もできるでしょう。OBの協力が得られれば、教師の多忙化も減らせ、先生はもっと授業に集中できるのでは？ どなたか教えてください。なぜ壁を作るのか？

各種活動のご紹介

●ボーイスカウト研修会

自然の中でロープワークなどの実践研修に参加。新人のため、見よう見まねの作業ですが、改めて知っていることができるは大違い、を体感。奥が深い社会教育団体です。



中村じゅんやの考えに賛同あるいは興味を持って頂ける皆さま、後援会への入会を随時受け付けております。ご希望の方は、本人もしくは、事務所までご連絡くださいませ。

●議員活動報告 (in浜松)

静岡県西部の矢崎労組合同研修会。目に見えぬ私の日頃の活動を知って頂くため活動報告をしてきました。浜松などの市政は分かりませんが、行政の動き、範囲、仕組みは同じ。日頃の困りごとをどのように解決していくか私見を紹介しました。

●リーフレットを更新

議員となり4年目。活動写真も入れリーフレット刷新。想いは変わらず「居心地の良いまちづくり」です。日々の生活が充実し、小さな事でも幸せに感じ、生活の質を高められる。そんな地域づくりに貢献できる様がんばって行きたいと思ひます。

